

2020年9月2日

吹奏楽を愛好されるすべての皆様へ

北海道吹奏楽連盟
理事長 井田重芳

コロナに負けず吹奏楽の灯を守り、未来につないでいきましょう！

吹奏楽を日頃より愛好されている皆様方には、春から続いている新型コロナウイルス感染症拡大がなかなか収まらない中、さまざまな感染防止対策をとりながらの吹奏楽活動の継続に対しまして心より深い敬意と感謝を申し上げます。北海道内の感染状況は地域により大きな違いはあるものの、一定の小康状態にあるように見受けられます。このような状況の中、道吹連事務局では道内11地区吹奏楽連盟の取り組みの現状につきまして集約をいたしましたのでご覧いただきたいと存じます。また、北海道吹奏楽連盟では来る2月の個人コンテスト・アンサンブルコンテストの実施に向け、大会の感染予防対策を講じながら準備に入っております。更に、3月の第1回北海道吹奏楽選抜演奏会の開催につきましては、共催団体でありますライオンズクラブ様とさまざまな問題点について協議を重ねているところでございます。そして、全国的にも吹奏楽活動が少しずつ再開の兆しが見えている中、道吹連ではいくつかの団体から発表された管楽器演奏に関する実験・検証のご案内をさせていただくことといたしました。併せてこの膨大な実験・検証データの中から、特に私達の吹奏楽活動に参考になる点についてまとめたものをお伝えいたしますのでご活用いただきたく存じます。引用させていただきました一般社団法人日本クラシック音楽事業協会様、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会様には厚く御礼申し上げます。

この未知のウィルスとの闘いを乗り越えて、必ずや輝かしい吹奏楽の未来が広がっていくことを念願し、北海道吹奏楽連盟を代表してのメッセージといたします。